

F I D R第176号
平成19年 1月15日

在ベトナム日本国大使館
特命全権大使 服部 則夫 殿

財団法人国際開発救援財団
理事長 飯島延浩

日本NGO支援無償資金協力事業完了報告書

平成18年11月10日付日本NGO支援無償資金協力贈与契約に基づく「ベトナム中部における台風（シャンセン）被災者に対する緊急援助事業」が、平成19年1月9日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成18年11月10日 ～ 平成19年1月9日

2. 事業の実施成果（要約）：

当事業は、平成18年9月30日から10月1日にかけてベトナム中部に上陸し甚大な被害をもたらした大型台風(Xangsaneーシャンセン)に被災した住民に対し、被害からの早急なる復旧を支援することを目的として行われた。平成18年11月21日から12月6日にかけて、5,984名の被災者に対して、家屋の修復資材(屋根用トタン板、セメント)の供与や食糧(米)の供与が実施された。その結果、被災者の家屋修復の促進や、緊急的な食糧不足の改善が図られ、彼らが従前の生活へいち早く戻り、より安定的な生活を確保するための一助となるという成果を得た。
(詳細については、「添付書類 ②事業の成果(詳細報告書)」を参照。)

3. 日本NGO支援無償資金精算額： 米貨 65,717ドル
(契約額(供与限度額)と同額)

4. 会計報告(事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し)：別紙のとおり

5. 外部監査報告書提出予定日：平成19年1月25日

【添付書類】

- ①会計報告関係：事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し綴り
- ②事業の成果(詳細報告書)
- ③事業内容説明写真

日本NGO支援無償事業資金収支表 (完了報告)

実施団体名: 財団法人国際開発救援財団
 事業名(実施国): ベトナム中部における台風(シヤンセン)被災者に対する緊急援助事業
 事業期間: 自2006年11月10日 - 至2007年1月9日

\$1= 16,064 (VND)
 \$1= 118.14 (¥)

項目	支 出 額			内 訳			備考
	ベトナムドン (VND)	米ドル (\$)	日本円 (¥)	支援無償資金			
				ベトナムドン (VND)	米ドル (\$)	日本円 (¥)	
現地事業実施経費							
● 現地事業費							
○ 資機材購入費	1,260,648,557	\$0.00	¥0	1,055,677,888	\$0.00	¥0	
小 計	1,260,648,557	\$0.00	¥0	1,055,677,888	\$0.00	¥0	
● 事業管理費							
○ 現地スタッフ人件費	2,618,290	\$545.71	¥0	0	\$0.00	¥0	
○ 通信費	588,000	\$0.00	¥0	0	\$0.00	¥0	
○ 旅費・移動費(車両借料)	4,827,500	\$0.00	¥0	0	\$0.00	¥0	
小 計	8,033,790	\$545.71	¥0	0	\$0.00	¥0	
現地事業実施経費一合計	1,268,682,347	\$545.71	¥0	1,055,677,888	\$0.00	¥0	
本部事業実施経費							
○ 本部スタッフ人件費	0	\$0.00	¥223,270	0	\$0.00	¥0	
本部事業実施経費一合計	0	\$0.00	¥223,270	0	\$0.00	¥0	
外部監査費							
○ 外部監査費	0	\$700.00	¥0	0	\$0.00	¥0	
外部監査費一合計	0	\$700.00	¥0	0	\$0.00	¥0	
総 計	1,268,682,347	\$1,245.71	¥223,270	1,055,677,888	\$0.00	¥0	
米ドル換算	\$78,976.74	\$1,245.71	\$1,889.88	\$65,717.00	\$0.00	\$0.00	
米ドル換算 合計	\$82,112.33			\$65,717.00			

為替レート
\$1 = VND 16,064
\$1 = ¥118.14

算出方法:
 ・12月8日: \$49,783.68 (= \$4,072.68 + \$45,711.00) を \$1= VND 16,065にて両替
 ・12月12日: \$15,933.32を\$1= VND 16,060にて両替
 これらを加重平均することにより、
 >>> 16,065 * (49,783.68/65,717) + 16,060 * (15,933.22/65,717) = 16,063.78 = 16,064 を得る。

算出方法:
 ・11月24日のT.T.S.(Telegraph Transfer Selling Rate: 電信売相場): \$1=¥117.47
 ・12月25日のT.T.S.(Telegraph Transfer Selling Rate: 電信売相場): \$1=¥119.79
 これらを加重平均することにより、
 >>> 117.47 * 5/7 + 119.79 * 2/7 = 83.91 + 34.23 = 118.14 を得る。

添付資料②

事業の成果（詳細報告書）

支援活動概要

平成 18 年 9 月 30 日から 10 月 1 日にかけて大型の台風(Xangsane—シャンセン)がベトナム中部に上陸し、ダナン市及びクアンナム省を中心とした地域に甚大な被害をもたらした。被災地域では、住居の屋根や壁が暴風により吹き飛ばされるという被害が多く発生し、多数の被災住民が雨季のなか、親戚や近隣世帯での避難生活を余儀なくされ、早急の家屋復旧が望まれていた。特にクアンナム省では、住居家屋に被害が出たほか、10-11 月に収穫予定であった米の 50~60%が被害を受けるなどし、食糧不足が懸念されていた。

これに対し、当事業では、被害からの早急なる復旧を支援することを目的とし、下記の支援対象地区の人民委員会、女性同盟との連携・協力のもと、平成 18 年 11 月 21 日から 12 月 6 日にかけて、5,984 名の被災者に対して、家屋の修理・修復資材(屋根用トタン板、セメント)の供与や食糧支援(米)を行った。

その結果、家屋用資材の受益者は、より早く被災家屋を修復させることが可能となり、従前の生活へいち早く戻ることができた。また、食糧供与により、当面の期間の食糧不足の改善が図られ、より安定的な生活を確保するための一助となるという事業の実施成果が得られた。

なお、当事業では、支援物資の供与先に選定に関して、支援地域の行政当局による貧困に関する「世帯別ランク」表を参考にすることで貧困層を優先した。また、被災世帯支援委員会(Board of Receiving and Delivery)の協力を得ることにより、行政、他団体の緊急支援供与先との重複をさけた。受益者には事前通知を行い、供与時には受取りのサインを徴求し、厳格に供与管理を行った。

■支援対象地区

ベトナム社会主義共和国 ダナン市リエンチエウ区ホアヒエップ北地区
ホアヒエップ南地区
ダナン市ゲーハンソン区ホアグイ地区
クアンナム省ナムザン郡

■支援対象地域・地区における支援内容(支援地と供与物、供与量)

市/省 区/郡 地区	ダナン市			クアンナム省
	リエンチエウ区		ゲーハンソン区	ナムザン郡
	ホアヒエップ北地区	ホアヒエップ南地区	ホアグイ地区	
供与実施日	2006 年 11 月 25 日	2006 年 11 月 26 日 及び 29 日	2006 年 11 月 21 日 及び 30 日	2006 年 11 月 27~29 日 及び 12 月 6 日
支援内容				
屋根用トタン板	146 軒(1 軒当り:30 m ²)	115 軒(1 軒当り:25 m ²)	36 軒(1 軒当り:50 m ²) 33 軒(1 軒当り:40 m ²)	112 軒(1 軒当り:30 m ²) 50 教室(小学校) (1 教室当り:30 m ²)
セメント		157 軒(1 軒当り:0.5 トン) 191 軒(1 軒当り:0.2 トン)	27 軒(1 軒当り:3 トン)	
食糧(米)				2,500 人(500 世帯)(1 人 当り:12 キロ)
受益者数(注 1)	671 名	1,898 名	355 名	延 3,060 名 +3,000 名(注 2)

(注 1) 受益者数に関して、1 軒に 1 世帯、また、1 世帯にそれぞれ 4.6 名(ホアヒエップ北地区)、4.1 名(ホアヒエップ南地区)、3.7 名(ホアグイ地区)、5 名(ナムザン郡)が居住しているとして算出。

(注 2) 加えて、小学校の屋根修復により通学生徒約 3,000 名が受益する。

* 当事業は、ダナン市及びクアンナム省の両外務局からの要請を受け、各支援地区及び郡に設置されていた被災世帯支援委員会(Board of Receiving and Delivery)により策定された支援要請案に基づいて行われた。このため、供与物、供与量に差異がある。

事業成果

■ダナン市リエンチエウ区ホアヒエップ北地区

当該地区では、屋根用トタン板を 146 軒に対し供与した(受益者数は 671 名)。この支援により、受益世帯では、被災家屋の修復に速やかに取り掛かることができ、従前の生活へ戻る一助となっている。すでに修復を終えている世帯では、家族共に避難先から戻ることが可能となり、各々の生活を開始している。また、地域の被災世帯支援委員会などの積極的な協力を得ることができ、支援を円滑に進めることができた。

■ダナン市リエンチエウ区ホアヒエップ南地区

当該地区では、屋根用トタン板及びセメントを各々の対象世帯、計 463 軒に対し供与した(受益者数 1,898 名)。この支援によって、被災世帯が自発的に家屋の修復を進めるなどの姿が確認されている。修復を終えた家屋では、すでに従前の生活へ戻るための足がかりを得ることができ、親戚や近隣世帯での非難生活を余儀なくされていた世帯が戻り始めるなどの成果が出ている。

■ダナン市ゲーハンソン区ホアグイ地区

当該地区では、屋根用トタン板及びセメントを各々の対象世帯、計 96 軒に対し供与した(受益者数 355 名)。この支援によって、受益世帯は家屋の修復に取り掛かることができています。すでに、修復を終えている家屋では、家族共に避難先から戻ることが可能となり、各々の生活を開始している。また、地域の被災世帯支援委員会の他、関係機関からの協力によって、供与物の運搬などが円滑に進むなど、地域ネットワークが強化されたなどの成果が確認できた。

■クアンナム省ナムザン郡

当該地域では、屋根用トタン板及び食糧用の米を各々の対象世帯、計 612 軒並びに小学校(50 教室分)に供与した。食糧用米の受益世帯では、今後約 1 ヶ月間の食糧(米)を確保することができ、自発的な復旧に取り掛かっている。この支援によって、緊急的な食糧不足が改善し、さらに今後約 1 ヶ月間の安定が図られたことから、従前の安定した生活に戻るべく、復旧作業が進められている。また、1 月現在、小学校の屋根修復も進み、すでに 50%以上の小学校の屋根が修復を済ませた。これにより、雨漏りや他教室を使用していた通学児童約 1,500 名は、よりよい環境で教育を受けることができています。

以上